

2018年4月27日

## The Emerging Markets Weekly

### 厳しくなる新興国通貨の先行き

**新興国市場:** 今週の新興国通貨は下落した。先週末、イングランド銀行(中央銀行、BOE)のカーニー総裁とドラギ ECB 総裁は経済指標の結果が芳しくないことから利上げを急がないことを示唆すると GBP と EUR が軟化しドルが上昇する中、新興国通貨は値を下げた。週初 21 日に北朝鮮が大陸弾道ミサイル(ICBM)実験の停止と核実験施設の廃棄を表明したことや、米 4 月製造業 PMI と 3 月中古住宅販売の市場予想を上回る結果、および米長期金利の上昇を背景にドル買い優勢となり、新興国通貨は軟調に推移した。24 日は発表された米経済指標(3 月新築住宅販売、4 月消費者信頼感指数)が市場予想を上回ったことに加え、米 10 年債金利が 2014 年 1 月以来となる 3% 台まで上昇したことを受けドル相場は堅調に推移したが、新興国通貨はまちまちな値動きとなった。25 日は米 10 年国債金利が前日に続き上昇しドル買いの流れも継続したため、新興国通貨は売り優勢の展開となった。26 日に開催された ECB 政策理事会では市場予想通り政策金利は据え置かれた。ドラギ総裁は会見で「インフレの上向きトレンドの確信がない」と述べたことが EUR を下押ししたが、新興国通貨は小幅な値動きにとどまった。

**アジア:** 26 日に発表された韓国 1~3 月期 GDP は前期比+1.1%と 2017 年 10~12 月期(同 0.2%)からプラスに転じたが、市場予想通りの結果だったため KRW への影響は限定的だった。むしろ米ハイテク株が軟調に推移する中、外国人投資家による韓国株式の売りフローが膨らんだ影響のほうが大きく、KRW は軟調に推移した。

**中東欧・アフリカ:** 米金利上昇やトランプ米大統領がイラン核合意を破棄する可能性を示唆したため、リスク回避の動きから ZAR は大幅に売られた。週中に原油価格が軟化したことに加え、米金利上昇を背景に RUB は値を下げた。25 日にトルコ中央銀行(CBRT)は金融政策会合を開催し、実質的な政策金利である時間外流動性貸出(Late Liquidity Window:LLW)を 75bp 引き上げ 13.50%とした。市場予想(50bp 引き上げ)を上回る金融引き締めを受けて、TRY は底堅く推移した。

**ラテンアメリカ:** ブラジル大統領選において未だに主要政党からの立候補者が固まっておらず、情勢が非常に流動的となっていることに加え、米金利が上昇したことを背景に BRL は大きく値を下げた。北米自由貿易協定(NAFTA)を巡る再交渉は暫定合意に向けて議論が進みつつあると報じられたものの、メキシコ大統領選における支持率でトップを走るオブラドール候補がペニャニエト現政権から政策を転換するリスクが意識され MXN は軟調に推移した。

国際為替部  
マーケット・エコノミスト  
佐々木 貴彦  
03-3242-7065  
takahiko.sasaki@mizuho-bk.co.jp

マーケット・エコノミスト  
多田出 健太  
03-3242-7065  
kenta.tadaide@mizuho-bk.co.jp

大島 由喜  
03-3242-7065  
yuki.ooshima@mizuho-bk.co.jp

お客さま各位

ここではレポートの一部をご紹介します。  
しています。

レポート全ページをご希望の方は、  
お取引いただいているみずほ銀行の  
お取扱店、またはお取引担当部まで  
お問い合わせください。

以上